

平成 30 年度 数学 I シラバス

数学科	科目名	数学 I	担当者	
履修学科	情報技術科・インテリア科・デザイン科・調理科			
履修学年	第 1 学年	履修単位	3 単位	
概要及び 目標	数と式、図形と計量、2 次関数およびデータ分析について理解させるとともに、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学の良さを認識し、活用する態度を育てる。			
評価規準	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	数学的活動を通して、数と式、図形と計量、2 次関数およびデータの分析における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に活用する。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返ることを通して、数と式、図形と計量、2 次関数およびデータの分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、図形と計量、2 次関数およびデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式、図形と計量、2 次関数およびデータの分析における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動状況 ・ 課題等の提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各定期考査 ・ 課題等の提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各定期考査 ・ 演習問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各定期考査 ・ 演習問題
使用教科書	使用教科書：新高校の数学 I：改訂版（数研出版）			
その他	更なる学習効果を高めるため、定期考査前に対策プリントを活用する。			

平成30年度 数学I 学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考		
4	第一章 数と式	1. 計算の基本 2. 文字を使った式 3. 単項式と多項式 4. 多項式の加法と減法 5. 多項式の乗法 6. 展開の公式 7. 因数分解(1) 8. 因数分解(2) 9. 展開、因数分解の工夫 10. 根号を含む式の計算 11. 実数			
5				第1節 数と式の計算	
6				第2節 1次方程式	中間考査 (5月)
7				第3節 集合と命題	期末考査 (6月)
9	第二章 2次関数	1. 関数 2. 1次関数のグラフ 3. $y = ax^2$ のグラフ 4. $y = ax^2 + q$ のグラフ 5. $y = a(x-p)^2$ のグラフ 6. $y = a(x-p)^2 + q$ のグラフ 7. $y = ax^2 + bx + c$ のグラフ			
10				第1節 2次関数のグラフ	
11				第2節 2次関数の最大値、 最小値	中間考査 (10月)
12	第三章 図形と計量	1. 直角三角形 2. 三角比 3. 三角比の値 4. 三角比の利用 5. 三角比の相互関係			
1				第1節 三角比	
2	第四章 データの分析	1. 正弦定理 2. 余弦定理 3. 三角形の面積 4. 鈍角の三角比			
3				第2節 三角形への応用	
2	第1節 データの分析	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばり(1) 4. データの散らばり(2) 5. データの相関と散布図 6. 相関係数 7. コンピュータによるデータの分析	学年末考査 (2月)		

